

最優秀賞

わたしのげんきのころ

茨城県 下妻市立下妻小学校一年 飯村 美羽

わたしのおなかには、きずがあります。わたしは、そのきずがだいきらいでした。なぜかというところ、おともだちとちがうからです。おかあさんにきいたことがありません。でも、おかあさんはわらって

「みうが、がんばったしるしだよ。」

といいました。そのときわたしは、どうして、なんでとおかあさんをこまらせました。

なんにちかして、わたしがうまれたときからおせわになっていて、だいきなひだかせんせいのしんさつのひがきました。ひだかせんせいはいつもわたしのことをほめてくれるやさしいせんせいです。

「うんていができるようになったの？ すごいね。ひらがなもかけるようになったの？ えらいね。」

とわたしをにこにこしてくれます。そうすると、おかあさんも、にこにこになります。せんせいは、いろんはなしをしてくれます。まちがって、パ

といてしまふときもあります。うまれたときはなしもしてくれました。

「せんせいにはね、みうちちゃんとおなじとこのころもがいるから、みうちちゃんがうまれたときは、すぐよくおぼえているんだよ。みうちちゃんは、とってもちいさい、あかちゃん、おなかのちゅうしがわるくて、たくさんのちりょうをがんばったんだよ。みうちちゃんは、やさしいひとのちをもらったり、たくさんのひとのおせわになったんだよ。だからおなかのきずは、がんばったしるしなんだよ。」

おかあさんとおなじことをいってました。みんなが、たくさんしんぱいしてくれたんだとおもいました。そしておなかのきずのこともよくわかりました。おかあさんは、おんなのこなので、おなかのきずをすぐくしんぱいしていたことも、おしえてく

れました。わたしは、いっぱいなみだがでてきました。たくさんのひとのやさしさをしりました。きつと、わたしのからだは、たくさんのひとのやさしさでできているとおもいます。そうおもうと、きゆうに、げんきがでてつよくなったかんじがしました。

いまわたしは、しあわせです。おおきくなったら、こんどは、みんなに、わたしがもらったたくさんのやさしさとげんきをわけてあげたいです。そして、まいにちにかんしゃして、やさしくげんきに、がんばります。しんぱいかけたおとうさん、おかあさんかぞくのみんな、しんぱいしてくれたみなさん、ごめんなさい。もうおなかのきずは、わたしのげんきのしるしになりましたので、あんしんしてください。

